

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 077	提案機関名 横浜農業協同組合
要望問題名 シコロ発生要因調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 22年度の要研究問題に提案した「血漿ビタミンAとシコロの関係」については、多くの材料で試験を行う必要があるとして、他県との共同研究を模索しているとの回答を得た。 しかし、現実にはシコロによる瑕疵で価格を落としている例は多く、生産者の経済的損失は大きいものとなっており、その発生要因や対策について素早い対応が求められている。 そこで、県内屠畜場に出荷される肥育牛の中でシコロと瑕疵判断された牛について、その経営内での飼養状況(特に給与飼料内容・量等)を調査し、発症要因の傾向を研究頂きたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部所	畜産工学担当
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 本要望につきましては、引き続き他県との共同研究等を検討しておりますが、当面はこれまで得られた成果・知見等について情報提供に努めてまいります。 本提案に関連する研究成果としては、2004年に鹿児島畜試で実施された「枝肉のシコロ発生要因の解明」がございます。別途内容を紹介させていただきますので、生産者への指導等、業務の参考にご活用下さい。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			